

News & Information

ソニー教育財団「ソニー幼児教育支援プログラム」
全国136園の幼稚園・保育所・認定こども園より選ばれた最優秀園

研究成果を発表する「最優秀園実践発表会」開催 11月6日(土)学校法人仙台みどり学園 認定こども園やかまし村(宮城県)

研究発表とシンポジウムを通じ、保育関係者に向けて主題「科学する心を育てる」保育実践を公開

記念講演： 学習院大学 教授 秋田 喜代美 氏

後 援： 文部科学省、厚生労働省、内閣府、宮城県 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2020年度に「ソニー幼児教育支援プログラム」で「最優秀園」に選ばれた学校法人仙台みどり学園 認定こども園やかまし村(宮城県、園長：小島 芳氏)の取り組みをオンラインでご紹介する「最優秀園実践発表会」を開催いたします。



「ソニー幼児教育支援プログラム」は、乳幼児期の教育に関する研究を推進したソニー創業者 井深 大の考えを受け継ぎ、2002年から続けている教育助成です。「科学する心を育てる」を主題に、1歳から5歳児の保育実践とその考察に基づく今後の方向性を募集しています。2020年度は、136園よりご応募いただきました。

今回、「実践発表会」を行う 認定こども園やかまし村 は、本プログラムの審査委員長である小泉 英明氏(株式会社日立製作所 名誉フェロー)ら5氏による審査や、個別調査を経て、「最優秀園」を受賞しました。子どもたちが外来種であるオオクチバスとの出会いを通じて命と向き合う中で、「科学する心」を育むこと。園の教育目標の一つである“自分も地球のひとつ”と感じながら、思いやりや人生の智慧を身につけることを大切にされた保育が高い評価を受けました。

最優秀園実践発表会・シンポジウム 開催概要

学校法人仙台みどり学園 認定こども園やかまし村 (宮城県)

研究主題： 身近な生き物との日々の出会いの中で紡ぎ出される科学する心の芽生えとは
～このさかなはなんていうさかな？けやきのもり水族館日誌から～

開催日時： 2021年11月6日(土) 9:00～12:00 (Zoomを使用したオンライン発表)

記念講演： 学習院大学 教授 秋田 喜代美 氏
「身近な自然環境の中で育む環境感受性 : 『科学する心を育む環境とは』

参加費： 無料

※ 開催についての詳細は、ホームページに掲載の「最終案内」をご覧ください。

https://www.sony-ef.or.jp/workshop/pdf/pre_20211006_yakamashi_2nd.pdf

※ 学校法人仙台みどり学園 認定こども園やかまし村の「最優秀園論文」の全文はホームページでお読みいただけます。

https://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2020_pre_yakamashi.pdf

「ソニー幼児教育支援プログラム」2020年度 最優秀園 論文

開催園: 学校法人みどり学園 認定こども園やかまし村(宮城県)

論文テーマ: 身近な生き物との日々のお会いの中で紡ぎ出される科学する心の芽生えとは
～このさかなはなんていうさかな? けやきのもり水族館日誌から～

論文全文(https://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2020_pre_yakamashi.pdf)

【審査委員による講評(抜粋)】

子どもたちが外来種との出会いを通して「命」と真摯に向き合い、教育目標のひとつでもある“自分も地球の中のひとつ”と感じながら、思いやりや人生の智慧を身につけられることを大切に保育されたことが本論文から読み取れました。保育者も子どもたちと共に揺らぎ、「科学する心」を広く深く展開され、本主題である「科学する心」の本質に迫る実践でした。その中には生き物への愛情、子ども時代からの持続可能な社会との関連性や、その視点の重要さを感じます。特に特定外来種の扱いについて自然な形で学んだことは、「科学する心」を広く深く展開する題材として有用であると捉えました。これらの科学や倫理の本質にせまる実践がこれからの保育・教育を支える上で、きわめて重要であると高く評価されました。

ソニー幼児教育支援プログラムとは

「科学する心を育てる」を主題に、子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある保育実践と今後の方向性をまとめた論文を募集し、その実現のための支援を行っています。全国の幼稚園・保育所・認定こども園より、毎年100園以上ものご応募をいただいています。審査委員長の小泉英明氏(株式会社日立製作所 名誉フェロー)をはじめとする各界の有識者により、予備審査、中間審査を経て、入選候補園に関しては現地調査も行います。入選園は翌年、「最優秀園実践発表会」や「優秀園実践提案研究会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。また、論文の中から特色ある事例を選び、毎年『実践事例集』(冊子)を発行。さまざまな実践事例をホームページから検索することもでき、保育関係者の研修や研究の参考として活用されています。

ソニー幼児教育支援プログラム: <https://www.sony-ef.or.jp/sef/program/preschool.html>

幼児教育 保育実践事例サイト: <https://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>

■ ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。60年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『「科学する心」を見つけようフォトコンテスト』など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035

公式ホームページ: <https://www.sony-ef.or.jp/>